

全国精神保健福祉会連合会平成29年度事業・活動報告

- 目 次 -

<u>はじめに</u>	… 2
<u>平成29年度事業計画趣旨</u>	… 2
<u>ビジョン1)「法人運営の安定に向けた取り組みの推進」</u> ～安定した活動を維持するために～	… 3
・賛助会員拡大強化（情報発信の強化）	
・大会・ブロック研修会等のあり方検討	
・都道府県連合会の活性化（訪問と実情把握）	
・多様な立場の家族との連携とつながる活動の展開	
<u>ビジョン2)「家族本人の願い・思いにこたえるとりくみ」</u> ～精神保健福祉の向上のために～	… 3
・交通運賃割引制度実現国会請願署名提出（6/7提出）	
・精神障害者障害年金の実態広報と要望（8/25提出、8/28公開）	… 4
・全国実態調査（家族支援等の方策に関する調査）	
・精神障害者家族間の支援者（ピアサポート）の養成および活動の推進 【日本財団助成】	… 6
・家族学習会企画PJ委員会・担当者研修・セミナー・アドバイザー研修 【JKA補助】	… 10
・みんなねっとフォーラム【日本財団助成】	… 12
・行政当局・公共団体等の役割受任と政策的検討・提起	… 13
<u>ビジョン3)「社会啓発と広報活動の充実」～みんなねっとをメジャーにする～</u>	
・社会啓発・広報事業の充実 （教育推進、みんなねっと誌刷新、SNS等の活用）	… 16
・ユニバーサルデザイン2020行動計画に基づく 国家公務員研修への講師派遣	
<u>組織運営</u>	… 16
・三役会	
・内閣府立入監査	… 17

はじめに

3月兵庫県、昨年の12月大阪府で類似する2つの事件の報道がありました。2つの事件に共通することは、児童期に精神障害を患った被害者が家族によって自宅に長年監禁されていたという現代版私宅監置ともいえるものでした。

奇しくも今年は精神科医吳秀三が精神障害者の私宅監置(自宅の中に設置された隔離室で監禁すること)の実態報告書を政府に提出してから100年目となります。これをきっかけとして1950年に精神衛生法が制定され私宅監置が禁止されました。

一世紀を経た今日において、精神疾患を持つ子どもを家族が長年監禁していたという点については全国精神保健福祉会連合会としても看過できない内容であるため、それぞれの事件は背景が異なる部分もあり、事件の全容解明がなされていない段階であることを前提としながらも、現代版私宅監置とも言える相続ぐ事件は、他人事では決してなく、おおくの家族が心配事や困難を抱え、精神的に問題を抱えている(みんなねっと全国調査)実態を知らせていくことが求められました。

とりわけ、精神保健福祉法(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律)改正法案の国会上程が見送られる中で、この4月よりガイドラインとして実質的な運用が発行されたことを受け、精神障がい者当事者への人権侵害を犯すことのなよう注視していかなければなりません。以下、平成29年度事業・活動報告を行います。

平成29年度事業計画の趣旨

- ・精神保健医療福祉政策の検討段階で、家族支援の視点が取り上げられはじめている。当会の役割は重要性を増しており、政策・施策の充実を求める。
- ・精神障がい者と家族の願い実現のために人権侵害と差別・選別の風土風潮を無くし、精神障害福祉活動の拠点となる。
- ・精神障害者家族を支え、孤立無援にさせないための取り組み、組織創りを図り、社会に働きかける。

【平成29年度重点課題】

- ・交通運賃割引制度実現国会請願署名提出
- ・精神障害者障害年金の実態広報と要望
- ・医療費助成制度実現の支援
- ・全国実態調査(家族支援等の方策に関する調査)
- ・第4次障害者基本計画等への政策的検討・提起
- ・賛助会員拡大強化(情報発信の強化)
- ・社会啓発・広報事業の充実(教育推進、みんなねっと誌の刷新、SNS等の活用)
- ・多様な立場の家族との連携とつながる活動の展開
- ・大会・ブロック研修会等のあり方検討
- ・都道府県連合会の活性化(訪問と実情把握)

ビジョン1)「法人運営の安定に向けた取り組みの推進」 ～安定した活動を維持するために～

・贊助会員拡大強化（情報発信の強化）

11329（個人3762、団体7567）平成30年3月末

・大会・ブロック研修会等のあり方検討

現行の8ブロックを原則とし、北海道地域の区分について検討を加える

全国大会は毎年開催を継続し、ブロック研修会の開催は各ブロックの判断に委ねる。

・都道府県連合会の活性化（訪問と実情把握）

全国大会・ブロック研修会を通じての実情把握とした。ブロック研修会は、九州・沖縄ブロックへ松澤副理事長、他ブロックには本條理事長・小幡事務局長が参加し意見交換・集約等を行った。

北海道・東北	岩手県	平成29年7月23日（日）～24日（月）
北信越	長野県	平成29年10月6日（金）
関東	埼玉県	平成29年11月2日（木）
甲州・東海	山梨県	平成29年11月9日（木）～10日（金）
近畿	滋賀県	平成30年2月11日（日）
中国（全国大会）	岡山県	平成29年10月19日（木）～20日（金）
四国	高知県	平成29年12月5日（火）～6日（水）
九州・沖縄	長崎県	平成29年12月5日（火）～6日（水）

・多様な立場の家族との連携とつながる活動の展開

配偶・パートナーの集い

・東京開催

第5回 5/27 第6回 7/29 第7回 9/23 第8回 11/23
第9回 1/21 第10回 3/24

・函館開催

第1回 10/28 第2回 12/16

・大阪開催

第1回 3/11

こどもぴあ発会 3/24

ビジョン2)「家族本人の願い・思いにこたえるとりくみ」 ～精神保健福祉の向上のために～

・交通運賃割引制度実現国会請願署名提出（6月7日提出）

46都道府県とみんなねっとで請願した第193国会（6月18日に閉会）衆

参ぞれぞれ47名の国会議員、両院合わせて94名の国会議員に6月7日までに提出を終えました。衆議院も参議院も「審議未了」。

『第193国会にて付託されていない請願書』

参議院

山形 群馬 福井 山梨 岐阜 三重 滋賀 兵庫 徳島 香川 愛媛

衆議院

青森 山形 福島 群馬 埼玉 福井 三重 滋賀 京都 兵庫 奈良

和歌山 鳥取 島根 岡山 広島 徳島 愛媛 宮崎 沖縄

・精神障害者障害年金の実態広報と要望（8月25日提出、8月28日公開）

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神障害保健課

本條理事長・小幡事務局長

・全国実態調査（家族支援等の方策に関する調査）

【日本財団助成】精神障がい者の自立した地域生活の推進と家族が安心して生活できるための効果的な家族支援等のあり方に関する全国調査

1.事業内容と委員

①調査期間：平成30年7月～2018年3月

②調査方法：家族会等に調査票を配布し、回収・集計し、考察を加えた

③対象：精神障害者の家族（親、配偶者や兄弟、子ども）3,129部

④内容：最新の数値を把握した。多様な家族の立場から回答を得た。

統合失調症以外の疾患の家族の状況や本人の長所や才能も回答項目に加えた。家族で抱える課題が最新のデータで把握できた。

⑤調査報告書発行：平成30年3月26日発行

⑥調査委員：

白石弘巳（東洋大学）、半澤節子（自治医科大学）、前田直（杏林大学）、
杉本豊和（白梅学園大学）、伊澤雄一（NPO全国精神障害者地域生活支援協議会）

⑦協力委員：

蔭山正子（大阪大学）、横山恵子（埼玉県立大学）、長谷川利夫（杏林大学）、久永隆一（朝日新聞）、二宮史織（国分寺すずかけ診療クリニック）

2.達成状況

①精神疾患患者の親、配偶者、きょうだい、子どもなど多様な立場の家族から回収ができた。

②「必要な精神科医療の確保」という点に着目し、現在の治療状況と症状悪化時の対応や利用しているサービスなど家族、本人の現状の生活課題を明らかにした。

3.成果

・必要な精神科医療の確保や、重度かつ慢性の状態となって地域に住まうことを前提に生活実態に着目し、国の示す入院患者の6割が重度かつ慢性状態にあることとの対比にもなる、重度かつ慢性状態でも地域生活を送っていることを示した。

- ・子どもや配偶者など幅広い続柄の家族の状況も把握することができた。統合失調症以外の精神疾患のある人の実態にもフォーカスし疾患別に見た困りごとを一定把握することになった。
- ・病状悪化時の不安や暴力、また社会資源の不足等から危機的状況となり、隔離や身体拘束に至る状況があることを示せた。
- ・報告書は全市区町村の精神保健福祉担当部署などにも配布し、調査結果から行政に家族の実態を知ってもらえる資料として提供できた。

4. 実施日程

- 第1回調査委員会 7/10 全国家族会調査の企画・検討
 第2回調査委員会 8/22 全国家族会調査 質問項目検討
 第3回調査委員会 12/8 調査集計結果 分析方向性 執筆分担
 第4回調査委員会 1/12 調査集計結果 分析方向性 提言の方向性
 第5回調査委員会 2/7 調査集計結果 報告書内容・原稿検討

項目	日程	内容	備考
第1回委員会	平成29年7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介 ・運営要綱の決定 ・委員会スケジュール ・調査票の検討 	(委員：以下順不同、敬称略) 白石、半澤、杉本、前田 (事務局) 小幡、鈴木
第2回委員会	8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・調査票の検討 ・今後の調査スケジュール 	(委員) 白石、半澤、伊澤、前田、杉本 (事務局) 小幡、鈴木、丸山
調査実施	10月1日～11月13日	全国の地域家族や当事者グループ(7,130名)に発送	3,129通回収(1月15日最終追補分含む)
調査データ集計	11月13日～12月8日	第1次集計結果	3048件分
第3回委員会	12月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・調査集計結果の報告 ・今後のスケジュール 	(委員) 白石、半澤、伊澤、前田、杉本 (事務局) 小幡、丸山
第4回委員会	平成30年1月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果報告 ・分析の方向性 ・報告書執筆分担及びスケジュール 	(委員) 白石、半澤、前田、杉本 (事務局) 小幡、丸山

第5回委員会	2月7日	・調査結果報告 ・報告書原稿の検討 ・報告書の内容 ・報告書執筆分担及びスケジュール	(委員) 半澤、前田、杉本 (事務局) 小幡、丸山
データ集計	2月16日	追加集計分統合結果	全3129件分
原稿入稿・校正・印刷	3月9日～3月26日	校正完了3/26 印刷完成3/28	
報告書完成・発送	3月29日	3563部頒布	家族会1157、全国保健所475、精神保健センター69、地方自治体1737、都道府県47、その他委員役員など

・精神障害者家族間の支援者(ピアサポート)の養成および活動の推進

【日本財団助成事業】

1.事業内容

- ① 時期：2017年4月～2018年3月
- ② 場所：申請のあった都道府県連合会15カ所、地域会49カ所
- ③ 参加対象：精神障害者の家族、支援者
- ④ 内容：地域単位で家族会を開催、交流の場を持った。講演、事例発表、事例検討会をおこなった。
- ⑤ 事業目標
 - ・各都道府県連において家族が困っている家族を支えることを推進する
 - ・家族会に繋がっていない家族を家族会に繋げ、孤立から救う

2.達成状況

家族の自発性に基づく活動となっている。「人とつながりたい」や「学びたい」など、のニーズに応えられる研修会や、学習会を開くことで、「ひとりではない」ことを実感できる場となっている。これからも実施して欲しいとの声も聞かれる。

- ①各都道府県において、家族の困っていることや求めていることをテーマに学習会、研修会、事例発表会などをおこない、家族支援活動をおこなった。
- ②単会…新たな参加者もあり、家族の孤立を防ぎ、つらい感情を吐露する場となった。

県連…本事業は7年目となる。未実施の県連に呼びかけを行い、新潟県連と静岡県連が新たに事業を実施した。

求めるニーズや圏域ごとに、なるべく多くの家族が参加できるように、研修会を複数回開催する県連もあった。参加者の声として「研修会をすると自分が励まされる」「相談者の言いたいことを汲んであげられるようになりたい」など、相談者の悩みを理解共感し寄り添う姿勢がみられるようになった。「具体的な困りごとの状態にはどのように対応するのか」など、相談内容をより深い視点で理解することにつながった。

研修会の受講で参加者の知識・技術の向上だけでなく、支援者として家族を支えるという強い使命感を持つ方も出てきている。継続実施している県連の相談員は確実に力をつけており、質の向上に繋がった。

単会…家族会とつながり、自分の経験を共感されながら聞いてもらえることで、自分に自信を持って対応できるようになった。

参加者からは「共感してもらえるだけでなく、知識も習得できた、張り詰めていた心がとても楽になった」と自らの経験を振り返ることもできるようになった。家族が元気になると、当事者への対応も変わってきた。

実施日程

・県連(ピアサポート養成)

NO	団体名	実施日時	実参加数	テーマ	会場
1	宮城県精神障がい者家族連合会	①2017年9月13日	①24	①「家族が家族の想いをきくということ」(大橋雅啓氏)	仙台市シルバーセンター研修室
		②2017年11月15日	②31	②「心の病を経験した当事者から見た家族」～当事者本人の声を聞こう～(仙台スピカーズ・ビューローの皆さん)	
2	一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会	2018年1月25日	50	午前：精神科の薬について 午後：事例検討 茨城県精神保健福祉センター長 遠藤憲一氏	茨城県立健康プラザ
3	栃木県精神保健福祉会	①2017年11月17日	①18	①知識編：「栃木県精神保健福祉センターの役割について」(小栗友美子氏)「私の体験談」(当事者)「当事者への対応の仕方について」渡辺こずえ氏	栃木県精神保健福祉センター
		②2017年12月1日	②16	②実技編：家族相談の進め方&やってみよう家族相談(小池英明氏)	
4	NPO法人 千葉県精神障害者家族会連合会	①2017年9月16日	①38	①家族への暴力(蔭山正子先生)	①千葉市花見川保健福祉センター
		②2017年9月23日	②30	②松戸市における相談支援の現状と課題(藤井公雄氏)	②松戸市常盤平市民センター
		③2018年2月10日	③36	③当事者の自立に向けて家族の役割は？(横山恵子先生)	③野田市総合福祉館

5	東京都精神保健福祉家族会連合会	東B 2018年1月28日	東18	相談員の質の向上を図る研修会 東…羽藤邦利先生	東…練馬区立区民・産業プラザ
		多摩B 2017年9月30日	多摩23	多摩…羽藤邦利先生	多摩…府中市立ふれあい会館
6初	N P O法人 新潟県精神障害者家族会連合会	2017年12月5日	68	A M：家族からの相談と望まれる家族支援（白石弘巳先生） P M：相談支援専門員による相談支援の実際～親亡き後についての相談事例より～（杉山敦彦先生）「家族相談のあり方について」（森田直子先生）	長岡市社会福祉センター
7初	公益社団法人 静岡県精神保健福祉会連合会	2017年7月27日	51	「ていねい」な相談活動について考える（伊藤千尋氏）	静岡県総合社会福祉会館601会議室
8	公益社団法人 京都精神保健福祉推進家族会連合会	2018年1月25日	45	臨床心理士から見た精神疾患等の対応について（梅原元氏）	ホテルビナリオ嵯峨嵐山御室の間
9	公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会	2017年11月25日	39	「相談に応じるということ～傾聴・共感・理解・肯定～」を学ぶ（吉池毅志氏）	アネックスパル法円坂
1	N P O法人 奈良県精神障害者家族会連合会	2018年2月24日	44	「訪問型支援の具体的な事例を通して考える当事者のリカバリーと家族の向き合い方」訪問看護ステーション卵所長 原子英樹氏	大和郡山市市民交流館集会室
11	公益社団法人 広島県精神保健福祉家族会連合会	2017年12月8日	38	A M：家族相談支援のありかた・すすめかた（金子百合子氏） P M：相談演習	広島県健康福祉センター
12	公益社団法人 福岡県精神障害者福祉会連合会	2018年1月30日	52	・福祉医療制度について（奥田和男氏） ・精神障害者のリカバリーについて（内野俊郎氏）	福岡県吉塚合同庁舎会議室
13	一般社団法人 熊本県精神障害者福祉会連合会	2018年2月16日	24	家族が家族の相談を受ける意味について（邑上春美氏） 実践編：演習	熊本きぼう福祉センター
14	公益社団法人 大分県精神保健福祉会	2017年11月11日	35	講演：「今を生きる」～「できない」からこそ見えるささやかな幸せ（加嶋文哉氏） 講義と研修：共に歩む（家族会）のあり方（加嶋文哉氏）	大分県総合社会福祉会館 3階中ホール
15	N P O法人 宮崎県精神福祉連合会	2017年10月25日	37	家族SST講習会（高森信子氏）	宮崎市福祉保健センター 2階視聴覚室

・単会(家族学習会)

No.	団体名	日程			参加者数	開催地
1	姫路市精神保健福祉連合会	3月6日	～	10月16日	10	兵庫
2	吉田町精神保健福祉会「秋桜」	4月30日	～	8月27日	3	静岡
3	北九州精神障害者家族会連合会 (3会合同)	10月28日	～	2月24日	10	福岡
4	木の芽家族会	6月11日	～	10月8日	6	兵庫
5	ゆみはり会	8月27日	～	11月5日	4	長崎
6	すたーとらいん(四日市)	7月10日	～	10月10日	6	三重
7	すたーとらいん(津)	7月14日	～	9月29日	5	三重
8	すたーとらいん(伊勢)	7月27日	～	10月12日	6	三重
9	子どもの立場 I	7月30日	～	11月26日	6	東京
10	丹誠会	8月19日	～	9月30日	8	静岡
11	NPO法人みどり会	8月19日	～	10月28日	7	静岡
12	NPO法人すみよし(のぐさ)	7月1日	～	11月4日	9	長崎
13	だいかれん南河内ブロック家族会	10月27日	～	12月22日	7	大阪
14	(NPO)焼津心愛会	7月1日	～	8月26日	5	静岡
15	双葉会(本庄市)	7月4日	～	11月7日	6	埼玉
16	沖縄市精神療養者家族会「おあしすコール」	7月8日	～	11月11日	10	沖縄
17	家族SST交流会(堺市)	7月8日	～	9月2日	8	大阪
18	藤枝心愛会	8月26日	～	11月4日	5	静岡
19	家族SST交流会(阪本病院)	9月21日	～	1月18日	7	大阪
20	つばめの会	8月3日	～	12月7日	6	岡山
21	まごころ会	9月30日	～	11月11日	7	静岡
22	グループ風(さわ病院)	7月8日	～	11月11日	9	大阪
23	ふちゅう風(ふう)の会	8月25日	～	11月24日	6	広島
24	広島市精神保健福祉家族会連合会	9月9日	～	11月11日	7	広島
25	もみじの会	8月20日	～	11月12日	4	岡山
26	岡山市精神障害者家族会連合会	10月31日	～	12月19日	5	岡山
27	みなわ会	8月20日	～	12月3日	8	埼玉
28	ま♡いっかの会	9月28日	～	11月30日	5	岡山
29	すずらんの会	9月10日	～	1月14日	7	埼玉
30	すずめのお宿家族会	10月21日	～	2月17日	8	福岡
31	もくせい家族会	9月11日	～	11月6日	8	埼玉
32	NPO法人なの花会	10月7日	～	11月4日	4	千葉
33	山武市精神障害者家族会のぞみ会	10月11日	～	11月22日	6	千葉
34	さくらの友の会	9月2日	～	10月14日	10	千葉
35	埼家連Eブロック	9月18日	～	11月14日	10	埼玉
36	浜砂会(やどかりの里)	9月21日	～	10月26日	7	埼玉
37	豊川(東三河)	11月4日	～	1月20日	5	愛知
38	豊橋(東三河ブロック)	10月8日	～	12月10日	5	愛知
39	つくし会	10月7日	～	12月2日	5	千葉
40	きょうだい家族学習会	10月21日	～	3月17日	7	東京
41	湘南あゆみ会	10月12日	～	2月8日	8	神奈川
42	ファーム栗の木	11月18日	～	1月27日	9	千葉
43	高知はっさくの会	10月14日	～	2月11日	4	高知
44	ぬくもりの会	10月11日	～	12月6日	4	静岡
45	こどもの立場 II	1月7日	～	3月18日	4	東京
46	あまかれん	11月19日	～	2月18日	5	兵庫
47	芙蓉会病院家族会 虹の会	1月13日	～	3月17日	8	青森
48	やすらぎ会	11月25日	～	2月3日	2	静岡
49	愛家連(刈谷市)	2月4日	～	3月25日	5	愛知

【JKA 補助】家族学習会企画 PJ 委員会・担当者研修・セミナー・アドバイザー研修

「家族による家族学習会プログラム」の実施に取り組んでいる地域は限定されており、各地域での自主的な実施には至っていない。実施課題として当該事業の中心となって活動するアドバイザーの不足があると考えられる。そのため、周知が不十分な地域でのセミナー開催、不足している地域でのアドバイザー養成研修会に取り組む必要があると考え、以下実施日程にて各取り組みをおこなった。

【平成 29 年度 家族による家族学習会企画プロジェクト委員会委員名簿】

- ①天川智子：きょうだいの家族学習会
- ②綾部小百合：岡山県精神障害者家族会連合会
- ③飯塚壽美：埼玉県精神障害者家族会連合会
- ④岡田久実子：埼玉県精神障害者家族会連合会
- ⑤川辺慶子：大阪府精神障害者家族会連合会
- ⑥国分栄樹：千葉県精神障害者家族会連合会（新規委員）
- ⑦佐藤美樹子：埼玉県精神障害者家族会連合会
- ⑧杉本富太郎：静岡県精神障害保健福祉会連合会（新規委員）
- ⑨徳久照道：福岡県精神障害者福祉会連合会（新規委員）
- ⑩永野昭二：岡山県精神障害者家族会連合会
- ⑪貫井信夫：千葉県精神障害者家族会連合会
- ⑫原晴美：岡山県精神障害者家族会連合会
- ⑬平間安喜子：子どもの立場の家族学習会
- ⑭守谷栄二：福岡県精神障害者福祉会連合会
- ⑮大島巖：日本社会事業大学
- ⑯蔭山正子：大阪大学大学院
- ⑰小林清香：埼玉医科大学総合医療センター（新規委員）
- ⑱横山恵子：埼玉県立大学

【協力委員】

柏木 彰：みなと会(神奈川県横浜市)、倉澤政江：もみじ会(神奈川県横浜市)
井汲悦子：さかえ会(神奈川県横浜市新規委員)、伊藤順一郎：しっぽふあーれ
院長、中村由嘉子：名古屋大学大学院、高森信子：S S T リーダー

【事務局】 小幡恭弘、松本まゆみ、二宮史織

【オブザーバー参加】 末光翔：東京大学大学院

●企画プロジェクト委員会			
	会場	実施日	参加者数
第1回	会場：アットビジネスセンター別館	5月17日	11
第2回	会場：豊島南池袋ミーティングルーム	9月14日	13
第3回	会場：豊島南池袋ミーティングルーム	1月22日	8
第4回	会場：豊島南池袋ミーティングルーム	3月20日	15

●セミナー					
	地区	実施日	参加者数	講師名	講師所属
1	熊本 会場：熊本きぼう福祉センター	1月26日	21	平山	福岡
				徳久	福岡
				守谷	福岡
2	宮城 会場：仙台市シルバーセンター研修所	2月12日	36	飯塚	埼玉
				蔭山	-
				国分	千葉
				貫井	千葉
3	鳥取 会場：鳥取県立倉吉未来中心	3月10日	18	岡田	埼玉
				永野	岡山
				佐藤	埼玉
				横山	-

●担当者研修会							
	団体名 会場名	日程	参加者数	講師名	所属	講師名	所属
1	岡山県精神障害者家族会連合会 会場：りょうあいセンター研修室	6.1	12	雨宮悦恵	岡山	片岡公子	岡山
				原 靖美	岡山	難波規子	岡山
2	静岡県精神障害者福祉社会連合会 会場：静岡県立社会福祉会館会議室	6.3	40	杉本富太郎	静岡	鈴木恒夫	静岡
				大村麻理子	静岡	吉村 強	静岡
3	福岡県精神障害者福祉社会連合会 会場：福岡県立社会福祉会館E階	7.7	12	守谷栄二	福岡	高久照直	福岡
				皆橋恭一	福岡	岡田久美子	埼玉
4	広島県精神保健福祉家連合会連合会 会場：広島県健康福祉センター	7.15	16	永野昭二	岡山	三保健子	広島
				片岡公子	岡山	坂口和生	広島
5	石川県精神障害者家族会連合会 会場：石川県二つの健康センター2F	7.26	17	貫井信夫	千葉	山中みどり	埼玉
				佐藤美樹子	埼玉		
6	兵庫県精神福祉家連合会連合会 会場：兵庫県福祉センター	8.24	14	出水厚子	大阪	原 靖美	岡山
				守谷栄二	福岡		
7	新潟県精神障害者家族会連合会 会場：新潟ふれ愛フラワ 会議室	9.24	26	飯塚壽美	埼玉	日向美和子	埼玉
				伊藤眞里子	埼玉		
8	青森県精神保健福祉会連合会 会場：八戸市十一番	9.30	17	佐藤美樹子	埼玉	天川智子	きょうだい東京
				小王鶴眞弓	埼玉		
9	富山県精神保健福祉家連合会連合会 会場：富山県社会福祉会館	10.7	12	佐藤美樹子	埼玉	岸澤マサ子	埼玉
				伊藤眞里子	埼玉		
・担当者研修会(助成外)							
10	埼玉県精神障害者家族会連合会	6.6	27				
11	横浜市精神障害者家族連合会	7.3	30				
12	長崎県精神障害者家族連合会	7.6	26	守谷栄二	福岡	尾形	長崎
				佐藤美樹子	埼玉	岩永	長崎

●アドバイザー研修会							
	地区	実施日	参加者数	講師名	講師所属	講師名	講師所属
1	東京 会場: 東京ボランティア・市民活動センター	11月29日	19	飯塚	埼玉	佐藤	埼玉
				貫井	千葉	岡田	埼玉
				杉本	静岡		
2	広島 会場: 広島市東区地区福祉センター	1月12日	8	守谷	福岡	原	岡山
				徳久	福岡	岡田	埼玉

・みんなねっとフォーラム：【日本財団助成】

1、事業内容実績

- (1) 時期：2018年3月2日金曜日
- (2) 場所：帝京平成大学池袋キャンパス冲永記念ホール
- (3) 対象：家族、当事者、専門職、学生等 約400名
- (4) 内容：精神障害者と家族への理解を広めるための講演・シンポジウム

2、事業内容詳細

- ・会場（帝京平成大学、冲永記念ホール）
- ・日程 平成30年（2018年）3月2日（金曜日）
- ・講師：長野敏宏先生（公益財団法人正光会・御荘診療所長・精神科医）
- ・フォーラムテーマ
「地域の中で共に暮らす」～それぞれの立場で出来ること～
- ・講演テーマ 『地域で共に暮らす～愛南町の取り組みから～』
- ・シンポジウムテーマ
「地域の中で共に暮らす～それぞれの立場で出来ること～」
- ・コーディネーター：藤井千代先生（国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰部部長/）
- ・シンポジスト：
佐野澄子さん
(所沢市保健センターアウトリーチ支援チーム統括責任者/看護師/精神保健福祉士)
高橋美久さん
(就労継続支援B型事業所 TERRA サービス管理責任者/千葉県障害者ピアサポート専門員)
岡田久実子さん
(埼玉もくせい会/公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事)

委員会開催日程

No	参加者	開催日	内容
第1回	藤井、大塚、植松、三ツ井	9月12日	テーマと講演者等決定
第2回	藤井、伊藤、植松、三ツ井	10月26日	プログラム、広報等
登壇者会議	藤井、植松、シンポジスト3名	2018年 2月6日	発表内容や順番、原稿の締切など
第3回	伊藤、植松、三ツ井	2月6日	当日の動きなど
第4回	大塚、伊藤、植松、三ツ井	3月14日	反省会

3.事業目標の達成状況：

家族と精神障害者の抱える課題として、一昨年から「自立」をモチーフに事業をおこなっている。参加者は約400名。全国各地から、当事者・家族、様々な専門職が集まった。

アンケートによる午前の講演の感想について、昨年に引き続き高評価となつた。

ほとんどが「良かった」と「ほぼ良かった」で83%の回答結果となつた。また、「良くなかった」との回答は0件だった。

感想内容は、「なぜもっと早く紹介してくれなかつたのか」「障害者も自然な形でまちづくりに参加しているのが素晴らしい」「発想の転換と整理ができた」「自己決定できる支援が大切だとわかつた」「まちに飛び出すことも大切」など、前向きな声が多かった。

午後のシンポジウムについては、良かったという感想が87%で、講演よりも高い満足度を示した。感想内容は、「自ら動いて耕すことが大切」「今の制度で出来ることがわかつた」「当事者の精力的な活動に心動いた」「自分で動こうと思う」など自ら働きかけたいという意見も見受けられた。「ゆつたりした分かち合いも良かった」などプログラムにコメントもいただいた。

相談支援活動

- ・相談日：水 10:00～15:00（非常勤相談員1名が勤務）
- ・相談件数（平成29年度）411件

全国の家族と当事者を対象に、電話による相談支援を行つた。毎週水曜日の午前10時から午後3時まで、1本の電話回線での受け付けであるが、毎回、10時になると同時に電話がかかり、1ケースが終わるとすぐにまた次の電話が入る。3時までは、ベルが鳴り続ける状況である。1日に7～10件の相談に応じることができている。

相談員は、現在2名の家族会役員が非常勤の身分で交代で務めている。それぞれ地元の家族会で長年、相談員の経験がある。

相談内容は多岐にわたるが、その多くはどこの相談機関に相談しても解決できなかった問題であり、相談員の家族としての長年の経験を通しての受け止めや助言により、相談者が新たな展望を得ることができ、喜ばれることもしばしばある。

特に多いのは、当事者が長年の引きこもり状態になり、相談者である高齢化した親と同居してトラブルが起きるケースである。地域からの支援が届かない。深刻な行き詰まり状態にあるケースも少なくない。たまに、すぐにも自殺したいという統合失調症にかかったばかりの主婦からの電話があったりもする。

相談を受けて、そのなかに含まれる困難な課題を明らかにし、解決のために必要な支援と制度をまとめて国と社会に働きかけることが当会には期待されている。10月からは、相談記録用紙に「課題の解決のために必用と思われること」の欄を新設して、相談から得られた情報を当会の活動に活かしてゆくための手がかりを提供しようと試みている。

・行政当局・公共団体等の役割受任と政策的検討・提起

【内閣府障害者政策委員会】

第33回 4月21日

障害者権利委員会について（報告）

ユニバーサルデザイン行動計画2020について（報告）

障害者基本計画（第4次）骨格案について

今後の審議の進め方について

障害者基本計画（第4次）案（総論部分）について

第34回 5月29日

障害者差別解消支援地域協議会の設置状況等について（報告）

障害者差別解消支援地域協議会の設置・運営等に関するガイドラインについて（報告）

障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について（報告）

障害者基本計画（第4次）骨格案について

今後の審議の進め方について

障害者基本計画（第4次）案（総論部分）について

第35回 6月23日

ジェームス・サーストン氏の講演

障害者基本計画（第4次）案について

第36回 7月21日 障害者基本計画（第4次）案について

第37回 8月 7日 障害者基本計画（第4次）案について

第38回 9月25日 障害者基本計画（第4次）案について

第39回 10月20日

障害者基本計画（第4次）の策定に向けた障害者政策委員会意見（案）
について

第40回 12月22日

障害者基本計画（第4次）の策定に向けた障害者政策委員会意見（案）

について

【社会保障審議会（障害者部会）】

第85回 6月26日

- 1 障害者総合支援法の施行について
- 2 相模原市の障害者支援施設における事件を踏まえた施策の進捗状況について
- 3 その他

第86回 9月20日

- 1 共生型サービスについて
- 2 補装具の借受の省令について
- 3 その他

第87回 11月22日

- 1 新サービスの基準について
- 2 障害福祉サービス等報酬改定検討チームの議論の状況について
- 3 自立支援医療、補足給付、医療型個別減免の経過的特例について
- 4 その他

第88回 12月11日

- 1 共生型サービスについて
- 2 障害福祉サービス等報酬改定検討チームの議論の状況について
- 3 その他

第89回 2018年3月2日

- 1 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定の概要について
- 2 その他

【労働政策審議会（障害者雇用分科会）】

第73回 5月30日

- 1 障害者雇用率について（案）（諮問）
- 2 その他

第74回 12月22日

- 1 障害者の雇用の促進等に関する法律施行規則の一部を改正する省令案要綱について（案）（諮問）
- 2 障害者雇用対策の政策目標について
- 3 その他

第75回 2018年2月5日

- 1 障害者雇用対策基本方針の改正について
- 2 その他

【今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会】

第1回 9月20日 代理出席

- 1 研究会の開催について
- 2 今後の研究会の進め方について
- 3 障害者雇用の現状等について

- 4 意見交換”
- 第2回 10月23日
- 1 関係団体からのヒアリング
 - ・公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会
 - ・一般社団法人 日本発達障害ネットワーク
 - ・特定非営利活動法人 全国就業支援ネットワーク
 - 2 その他
- 第3回 10月30日
- 1 関係団体からのヒアリング
 - ・全国手をつなぐ育成会連合会
 - ・社会福祉法人 日本盲人会連合
 - ・全国就労移行支援事業所連絡協議会
 - ・公益社団法人 全国重度障害者雇用事業所協会
 - 2 その他”
- 第4回 11月7日
- 1 関係団体からのヒアリング
 - ・一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会
 - ・NPO法人 就労継続支援A型事業所全国協議会
 - 2 その他
- 第5回 11月24日 (欠席)
- 1 関係団体からのヒアリング
 - ・社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
 - ・一般社団法人 障害者雇用企業支援協会
 - ・一般社団法人 日本経済団体連合会
 - ・日本商工会議所
 - ・日本労働組合総連合会
 - 2 その他
- 第6回 12月22日
- 1 これまでのヒアリング等を踏まえた意見交換
 - 2 その他”
- 第7回 2018/2/23
- 1 障害者雇用促進制度についての意見交換
 - 2 その他”

ビジョン3)「社会啓発と広報活動の充実」～みんなねっとをメジャーにする

～

・社会啓発・広報事業の充実（教育推進、みんなねっと誌刷新、SNS等の活用）
HPリニューアル（平成29年9月25日実施）
月刊みんなねっと2018（H30）年4月号よりリニューアル3月10日入稿

SNS 運用開始平成 29 年 4 月 (LINE@、Twitter)

・ユニバーサルデザイン2020行動計画に基づく国家公務員研修への講師派遣

内閣官房オリパラ事務局要請による国家公務員への心のバリアフリー研修への講師派遣をいたしました。

研修受講者がグループに分かれ検討する「心のバリアフリー」を推進する政策案に対し、障害のある方の立場から見たときに本当に有益な施策となっているか等ご意見、アドバイスをする役割。

- ・入省3年目心のバリアフリー研修（9月6・7日入間研修所）白内さん、山中さん
- ・汎用性のある研修プログラム研修（12月5日）白内さん

組織運営

・三役会

第1回 2017/4/5

書面理事会・総会の議題等について
精神保健法改正案について
山口県に関する組織対応のあり方について
その他

第2回 2017/6/8

山口県連の再建について
全国大会・ブロック大会の開催のあり方について
調査委員会の立ち上げについて

第3回 2017/8/2

山口県連再建について
みんなねっと誌のリニューアルについて

第4回 2017/10/4

山口県連について
理事会議題について
事務局体制について

第5回 2017/12/7

立入検査指摘事項について
新年度事業の方向性と体制について

第6回 2018/2/7

3月理事会議題決定
新年度事業の方向性と体制について

・内閣府立入監査

11月22日に実施、次の点について口頭指摘を受けた。

公益法人用件の財務三原則を満たし、中長期的な見通しを持つことが求められている。これを遵守していくように、検査した内容を共有する。

第三者に向け説明ができること。内部チェック体制を確立させること。

- ・役員選任については、一括採択でなく、個別に採択となる旨を明確にする。議事録上、個別議決されていることが分からない。ひとり一人の選任結果を議事録に記載すること。
- ・総会招集については定款で、理事会において日時場所も決定することとされている。これも理事会議事録には記載がないので、記載すること。
- ・定款 28 条 4 項では、「理事長及び副理事長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない」とされている。

三役会は定款上にはない任意設置のものなので方向性を決めるることはあってよいが、理事会決定案件であればできない。常任理事会などの位置づけなどを検討してもよいのではないか。何れにせよ、執行状況の報告であることが分かるように実施すること

- ・第 59 条第 4 項 「事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議により別に定める」とある。

財務処理など稟議書によらない部分の処理を含め、理事長と事務局長の決済権限を明確にするため、定めをすること。